

平成25年10月23日(水)
岡谷市基本構想審議会

第6回岡谷市基本構想審議会

会 議 録

(出席者)

○委員(14人)

鮎沢春雄委員、和泉ふみ子委員、伊藤 覚委員、太田博久委員、小口久一委員、
笠原亥一郎委員、片桐協子委員、小林睦巳委員、I 委員、濱 道夫委員、
丸山善行委員、宮坂博明委員、山田昌義委員、横内敏子委員

(五十音順)

(説明者)

○事務局(6人)

企画政策部長 小口明則

企画課長 山岸徹、企画課主幹 白上淳、同 両角秀孝

同主査 宮坂征憲、同主任 相河美咲

第6回岡谷市基本構想審議会 会議録

平成25年10月23日(水)

午後1時30分～午後3時35分

市役所9階大会議室

1 開会

市民憲章唱和

2 会長あいさつ

横内会長	改めましてこんにちは。先日は出られなかった方もいらっしゃるかもしれませんが、みなさんお疲れ様でございました。今日はあの雰囲気の基に頑張っ てやっていきたいと思ひます。みなさんには大変お忙しいところご出席 いただきまして、ありがとうございます。
------	---

3 議事

(1) 全体説明

太田副会長	ありがとうございます。それでは会議に先立ちまして、本日は14名 の方の出席ということになっております。H委員さんが若干遅れてお見え になるとの事でございますが、14名の出席ということになっておりますの で、本会議が成立することをご報告いたします。それでは早速ですが本日 の会議に入りたいと思ひます。横内会長お願いいたします。
横内会長	それでは審議に入ります。本日から全体審議となります。資料及び審議 の方法等について事務局から説明をお願いいたします。
白上主幹	事務局の白上です。先日はどうもありがとうございました。昨日みなさ んのご自宅をお伺いし、資料をお届けいたしました。みなさん、昨日お配 りした資料を本日お持ちいただいているかと思ひますが、お忘れになつた 方は予備の資料がございますが、よろしいでしょうか。 本日メインで利用いたしますA4横版の資料がございます。昨日お届け した際にも若干ご説明させていただいておりますが、この資料につきまし ては、今までの意見をまとめたものでございます。後程詳しく説明をさせ て頂きます。それから前期基本計画の答申書が、前期基本計画の綴りの一 番後ろについております。本日、検討資料として、その部分をコピーし たものをお配りしております。それから、昨日お届けしたのが第4回の議事 録、本日机の上に第5回の議事録を未定稿であります。お配りしてござい ますので、内容についてご確認をお願いいたします。 それから、もう一つ、みなさまから頂いた意見質問連絡票で、基本目標 1と2の関係で、まだお答えが出来ていなかった部分、他の目標のところ で出していただいたところがありまして、それについてのお答えを作成し まして、机にお配りしてございますので、こちらにつきまして、お読み いただければと思ひます。 それでは早速ではございますけれども、私のほうから説明をさせていた だきます。

先ほどお話しいたしました、前期基本計画の答申書をご覧頂きたいと思
います。前期基本計画の答申書はこのような形で作られています。最初
に前文がありまして、その後ろに意見要望という形になっております。意
見要望につきましてはご覧頂いているとおり、1つの基本目標につきまし
て3つから4つの項目を挙げて作られています。

内容については具体的というよりは、大きな視点での言い回しの項目に
なっております。前期の例もごございますので、全体的にこのような形の答
申書にしたらどうかと思っておりますが、それについてもご意見があれば
後程いただければと思っております。

続きまして、昨日お配り致しましたA4横版の資料でございます。こち
らにつきましては、これまで審議会のなかで出されました意見要望、もち
ろん質問意見連絡票で頂いた部分を含めまして一覧にしたものでござい
まして、一応すべて一覧にしたつもりではおりますが若干質問の中に含ま
れているご意見ですとか、乗っていないものがあると思っておりますので、その
辺は今後のなかで含めていく形で考えていますので、ご了承いただきたい
と思っておりますが、ご意見・ご要望としていただいた分については載せてある
つもりでございます。またご確認をいただければと思っております。

その一覧表になっておりますが、左側に項目というのがございます。こ
の項目につきましては皆様から頂いたご意見がどういったテーマでお話
しされているかというのを、出来るだけ簡単な言葉で表した物でございま
す。例えば、産業についての情報発信が大事ではないかということで、情
報発信というような項目をつけさせていただいているものでございます。

同じ趣旨でお話しを頂いた分については、まとめた項目という形になっ
ております。それで、これからご審議をいただくわけですが、このグル
ープ分け、項目となっているこの部分で特に重要と思われる、答申書にこの
審議会として答申書に載せて行きたい部分、こういったものについてみな
さんのご意見を頂きたいと思っております。

その後、今日の会議のご意見を頂いた内容を踏まえまして、正副会長さ
んと事務局の方で答申書のたたき台を作らして頂きたいと思っております。

ここでは特に重要と思われる、どういった項目なのか、どういったキー
ワードなのか、今後の5年間どういったことをしっかりやっていかなけれ
ばならないのか、ということについては是非ご意見を賜りたいと思ってお
ります。

そのキーワードなり項目をいただきまして、それを1つの文章に、先ほ
どの前期の答申書の内容のような1つの文章にまとめていくと、基本目標
ごとに前期は3つから4つとなっておりますが必要であれば4つとか5つ
とか6つとか、項目だしをしていくと、そんなような形で答申書をつくっ
ていければと思っておりますので、今日はよろしくお願ひしたいと思いま
す。

みなさんから頂いたご意見ご要望、どれも重要な内容であります。全
体を見ていただく中で、審議会として、審議会から出す答申書としてどう
いったことを伸していくかと、そんな観点も頭に入れていただきながら、
ご意見を頂ければと思っております。

それから、みなさまから頂いたご意見ご要望につきましては、前期の答
申書をみていただくとお分かりいただける通り、全てを盛り込んでいくのは
難しい。ただし、前期は出された主な意見要望を後半で参考として付与し
ている。このような形で、出されたご意見については、後半につけさせて
いただくと、そのような形になっています。

横内会長	<p>本日の審議内容を基に、正副会長と事務局で、答申案を今日会議終了後、会議内容を踏まえて作成し、早急にみなさんのお手元にお届けしたいと思っています。一覧表に載せていない質問事項の中にも、重要な意見が含まれているものがございますので、答申案作成の際には出来る限り盛込んでいきたいと思っております。委員のみなさんにはお配りいたしますので、お配りしたところで、みなさん1週間ほどお時間があるかと思っておりますので、答申案の内容をお読みいただき、11月1日、最終回になります、第7回基本構想審議会でその答申案を基に、みなさんでご審議をいただき、修正を加えていく流れで進めて行きたいと思っております。第7回審議会でご意見を基に修正した答申案については、郵送等でお手元にお配りをし、ご了解を頂いた上で審議会としての答申とさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。事務局からは以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p>
------	---

(2) 全体審議

横内会長	<p>それでは基本目標ごとに進めて参ります。はじめに基本目標1「魅力と活力にあふれる にぎわいのあるまち」について、答申書に記載していく重要な項目、キーワードについてのご意見を頂きますが、事務局より説明がありましたように、これからの5年間、私たち市民はどういうことを望んでいるかということ、ざっくりばらんところで、この基本目標1に対していくつか政策がありますが、その中で、どこでもよろしいので、活発なお考えを出していただきたいと思っておりますので、お願いいたします。</p>
E 委員	<p>2 - 3 産業の振興について、観光資源の活用について、岡谷市で観光で人を呼ぼうとしても、上諏訪の温泉、茅野の白樺湖、蓼科高原、そういったところにはとてもかなわないと思っております。岡谷の観光資源を考えたとき、資料にも書いてありますが、一番は諏訪湖だと思います。その他はやまびこ公園や太鼓まつり、うなぎのまち、いろいろありますが、細かいところをいろいろ言っても、例えばイルフがあるとか言っても、例えば東京の人が信州へ行きたいと思ったときに、イルフ童画館や武井武雄といっても魅力を感じないと思う。諏訪湖ややまびこ公園、うなぎのまちとか、主なものに絞って観光振興を進めていくのが良い方法ではないかと思う。</p>
横内会長	<p>副会長に口火を切ってもらいましたが、みなさん思っていることをぜひおっしゃってください。</p>
J 委員	<p>観光という観点について、まちづくりにも関係するかもしれないが、このまちを元気にしていく、活性化していくというために、何かをつくったとか、有名人を呼んだとか、それはその時は盛り上がるが、後に続かないということがあるかと思う。まちをつくるには、都会化するというのではなくて、コミュニティの力を強めていくということが大切ではないか。そこに住む人と一緒になって何かをすることが大切になるのではないかと思う。</p> <p>まちとか店というものは、場所とか物ではなくて、そこに人が集まるといこと、そこに岡谷の人が絡むことが大切ではないかと思う。美術考古館、蚕糸博物館、中央通り、いろいろなものが変化してくるが、そういうことに関して、岡谷の人がしっかり絡んでいく、そんな仕掛けが必要では</p>

<p>I 委員</p>	<p>ないかと思う。観光に関する審議の際に意見書を出したが、コミュニティは「遠くから人を惹きつける力」ではなくて「惹きつけ続ける力」があるのではないかと思う。岡谷の人も巻き込んでやっていく、いろいろつくっていくことが必要ではないかと思いました。</p> <p>「湊の諏訪湖周辺を美化」と書いてある。県の連合婦人会の役員をしているが、毎年「あいとびあ」で県の会議が行われる際に、来訪されたみなさんから「岡谷というまちはおかしい。これだけ人が集まるのに、お土産を買うところがない」と言われる。北信から来る方は時間がかかるため、他所を回って買い物をできない。「この周辺にお土産を売ってくれるところはないか」と毎年言われる。</p> <p>下諏訪町のセンターを使うときは、商業者の方がセンター内で物販を行うので、それを購入してから帰られる。白鳥の時期や桜の時期には、横河川河口に人が集まるが、そういうときにただ手ぶらで帰ってしまうのは非常にもったいない。季節的な出店で良い。</p> <p>道の駅のようにきちんとしたものを湊に造られても、諏訪湖周辺を周遊されるかたはそこで買い物ができるが、「あいとびあ」はいろいろな団体が利用しており、他所からも人が来る。湖畔公園も整備されているため、その付近に岡谷のお土産を集約して販売する売店があれば非常に良いと思う。以上です。</p>
<p>G 委員</p>	<p>観光資源の活用について、みなさんの意見と異なるかもしれないが、このまちは本当に自然に恵まれ、諏訪湖や公園がいっぱいある。それをいかに活かしていくか。そしてさらにもっと魅力あるものに整備していかなくてはならない。自然を再構築していく。そうしたことがこれから大きな課題になっていくのではなか。</p> <p>具体的にはいろいろあると思うが、大まかには快適なまち、まち以外の方々が魅力あるところとして、I 委員さんが言われたようにお土産があるまち、そういった場所作りも大切であるし、魅力あるものをつくって、観光面にもつながっていくと思います。みんなが頑張っやらないといけないと思う。</p>
<p>H 委員</p>	<p>基幹産業の振興ですが、今、岡谷はスマートデバイスということを進めています。スマートデバイスは以前も話したが、プレスや切削のことで、より微細な技術を構築していくことで、これは大変良いこと。諏訪圏工業メッセがありましたが、非常に優れた技術を岡谷が持っていることを、再認識した。</p> <p>もう1つ、下請けから脱皮するためには、市役所が決め打ちはできないと思うが、例えば、医療・介護分野の決め打ちというか、メッカをつくるという支援をしていくことが良いと思う。いろいろなことがあるが、大変大きな規模になってしまうので、ここに一番適したものはそういうものではないかと思っております。以上です。</p>
<p>F 委員</p>	<p>いろいろな意見がでていますが、岡谷の場合、最近どちらかというと湖畔の観光客の集中が多くなっていると思います。ただ、ちょっと心配なのが、せっかく岡谷に来て、景色などを見てよかったなと思い、記念になるものを持って帰りたいと思っても、土産店が非常に少ない。</p> <p>諏訪湖ハイツの中に売店らしいものがあるが、これはあくまでも障害者の方たちのプラスになるように、というのが主体である。観光客が地元へ戻</p>

	<p>ったときに、「ここにはこういうものがあつた」と言えるようなものをあ る程度売っているようなところが全然無いため、その点について考えて頂 きたいと思う。</p> <p>それからもうひとつ、最近横河川の桜が素晴しく、その期間は、湖畔に 近い方にお土産店が臨時に設けられ、好評だったとの話しを聞いている。 一時的なものではなく、「ここに行けば、こういうものがある」、「ここ にはこういうものがある」ということをもう少しPRしたら、さらに良くな るのではないかと思う。</p> <p>それから、岡谷発で諏訪のほうへ行く船があり、みなさんに非常に好評 である。諏訪湖の中から湖周を眺め、諏訪に着いたら岡谷へ向かってジョ ギングやウォーキングで来るというのも、1つの観光資源になると思われ るため、そうした点も考えて、少しでも、1つでも多く観光資源があつた らなと思います。以上です。</p>
H 委員	<p>基幹産業の件について、先日、J 委員さんのところの「絹の都」という 展示会に行った。このまちには、絹の歴史がある。非常にもったいない産 業だから、製糸業として同じことを繰り返すのではなく、シルクという面 で、基幹産業というか産業として、市を挙げてもう少し周知していく対策 をとったらどうかと思う。</p>
B 委員	<p>基幹産業の振興で、情報発信について「ホームページの内容が不十分と 思える」との意見がある。会社なり商店なり個別に指導を行い、このお店 の何が売りなのか、といったところを精査して、市として売込みができる 総合サイトを構築し、情報発信をしていけば有利なと思われる。ホーム ページをもっているところは結構あると思うが、更新がされていない、検 索にかからないページでは何の意味もない。</p> <p>会議所でもホームページ作成の講習会等あるが、有効とは思えない。も う少し丁寧なホームページなり SNS などのサイトができるようなリー ドを官でやっていただき、それを岡谷市の大事な情報として大々的に発信 したらどうかと思う。</p>
G 委員	<p>B 委員がお話しされた基幹産業分野における情報発信について、成長産 業参入の企業誘致にも関係してくると思います。健康医療とか環境エネル ギーのメッカとなる地域にしていくには、情報発信がとても大事で、企業 誘致を積極的に進めることによって、多面的な、若者が働く場所、若者が 集まる場所、それに追従して人口増、そして少子化にもつながるか。そ ういったものの歯止めがかかるかもしれない、という発想が生まれてくる のではないかと思う。活力があるまちにしていくことが出来るような気が する。それは政策3にも関係してくる気がします。</p>
横内会長	<p>ほかにはこの基本目標1に対してご意見ありますか</p>
J 委員	<p>企業誘致について考えたときに、狭い岡谷の中で、岡谷のセールスポイ ントは何かと考えたときに、市内企業が頑張っていて、多方面に素晴らしい技術 を持っていることにつける。その技術を求めて企業が集まってくるとい うことになるかと思う。そう考えると、既存企業の技術を押し上げていく ことがポイントになるのではないか。既存企業への将来性ある技術、健康・ 医療・環境エネルギーなど将来性ある技術に向けての支援が必要である と思う。企業誘致にもつながることなので、お願いしたい。</p>

I 委員	<p>最近大学を出た学生が、みんな就職がなくて外へ出て行ってしまう現象があると思う。この技術の継承というところで、技術の継承は腰を据えてしっかりしていかないと、継承されないと思う。地元で頑張っている将来性のある企業への支援とともに、後継者のいない企業がみすみす辞めていくことがないように力を入れて頂き、岡谷の技術力の高さを継承していただきたい。</p>
E 委員	<p>産業の振興の中で、中央通り、駅からイルプラザまで間はいろいろなイベントをやって人を集めている。湊では、小さい商店がひとつなくなり、高齢者の方が買い物に行けずに困っている状況がある。買い物難民の問題。小坂地区に1軒お店があり、そこのお店が注文を取り、個々の家までフォローしてもらっている。他の地区でも小さい商店がなくなり、郊外に大きなスーパーができる、といったときに、これから車が運転できない、バスに乗っても大きな荷物をもてない高齢者が増えてくると思われる中で、これからの問題として、その対策を考えていかなければならないのではないか。</p>
M 委員	<p>技術継承を進める中で、新卒者が大企業志向で中小企業に入ってこない。中小企業は実は人を求めているなかで、ミスマッチが起こっている。後継者がいなくなる企業もかなりあるため、いかに上手く技術の継承をしていくか、力をいれてやっていただきたい。</p> <p>また、スーパーデバイスという言い方をしているが、分かりづらい。言葉自体がなんのものなのか、いまいち明確ではない。明確に分かる言葉を取り上げたほうが、シンプルで分かりやすいと思う。</p>
横内会長	<p>ほかにはよろしいでしょうか。それでは、基本目標2「ともに支えあい、健やかに暮らせるまち」について、進めて行きたいと思います。みなさん、ご意見をお願いいたします。</p>
H 委員	<p>勤めている女性がたくさんいるが、子育てが大変だと思う。働く女性が子育てをして、子どもを預けて安心して仕事ができる対策が3歳までで良いのかどうか分からないが、幼稚園くらいまでは必要ではないか。女性の意見を聴いた方が良いのではないか。</p>
横内委員	<p>女性のみなさん、如何でしょうか。</p>
B 委員	<p>育児休業についてですが、女性ばかりではなく、市職員が強制的に最低2ヶ月は育児休暇をとるようなことを決めれば、民間にも広がるのではないか。男性も育児休業を取るというお手本が市でつくったらどうか。結局女性が辞めざるを得ないとか、大変苦勞しているということは、家族の協力が無い、男性は仕事をしていて当たり前というようなことが普通になっているので、その負担が女性に掛かる。</p> <p>例えば育児休業を3年取得しても、3年も休めば居場所がなくなってしまう。せいぜい1年取るか取らないか。その後、子どもをどこに預けるか。今度は祖父母の方へお願いときて、祖父母の負担になる。祖父母に預けられる人は良いが、悪循環というか、男性も育児に協力すると同時に、市の職員に条例なりつくって、進めていければ良いと思う。今後の子育て支援の対策のひとつとして要望します。</p>

横内会長	<p>いまとても大事な福祉のことも上がっておりますので、それらも含めて幅広いご意見をいただきたいと思っておりますけれども、いかがでしょうか</p>
G委員	<p>オランダでは、産休後、女性は復帰して職場に戻るそうです。復帰後、ちゃんとした職が与えられて、課長になり部長になり、どんどん昇進して、満足な協働が実現している。真似事は好きではないが、外国の好事例もある。</p> <p>そういった面でも、岡谷市から、岡谷市独特のものを発信したらどうか。岡谷ではこういうことができる、子育てをするためにこうしたことをしているとか、目に見えて大きく声を大にして言えるような、そういう岡谷の考えをつくり出して、実現して、岡谷はこんないいところなんだ、若い人たちもこちらに来て、仕事も企業誘致をして、住みやすい岡谷をぜひ実現して頂きたいと、女性からお願いいたします。</p>
横内会長	<p>政策4, 5, 6と3つありますので、含めてご意見を頂きたいと思います</p>
C委員	<p>子育て支援の関係。中小企業で総務担当をしているが、なかなかみなさんおっしゃるとおり、中小企業はギリギリの人数でやっているため、なかなか市の方が一生懸命やっても、現実として、企業が付随して出来る状態にない。施策も大事ですが、企業を作っていくという姿勢をつくらない限り、いくら良い施策ができて、企業が苦しくてギリギリの体制、人数でやっている。企業側とすれば。</p> <p>弊社も産休が明けて復帰している社員がおりますけれども、そういう体制が出来ている会社が全てではないので、そういう体制を、施策も大事だが、企業をひっくるめてそういう形にもっていかないと、目標を立てても現実的に難しいと思う。今後、重要になってくると思う。</p> <p>もう1つ。弊社にも言えることだが、独身の男性社員の割合が高い。50%以上。若い男性を除くと独身男性が増えており、社内でも問題になっている。以前も話がでたが、まちでお見合いなどをやる番組があるが、そんなようなことをやって頂きたい。少子化対策のところに婚活事業がでているが、何とか実現していただきたい。</p>
L委員	<p>C委員さんからお話しのあった婚活事業、お恥ずかしながらまだ自分も一人身。非常に興味深い部分で、私みたいになかなか結婚できない人が、友人の中にもたくさんいる。理由を聞くと「出会いがないから」という答えがほとんど。出会いの場を自分でつくって行かなければいけないという面もあるが、ちょっとした手助けみたいな感じで考えていただければと思う。</p> <p>新病院ができる。この中身、どういう診療内容だとか含めて、病院の有り方をもっとこれから、決まっている部分は致し方ないが、これから病院経営の上でしっかり数字を出せるような、市民のニーズはどこにあるのか、しっかり精査してやっていっていただきたいと思っております。</p> <p>病院に関係して、健康診断とか産後の健診だとか、要望として挙がっている。予防医療という部分もいろいろと考えていっていただきたい。</p> <p>私も意見を書いた部分で、毎年健康診断を受けるが、混んでいたりして岡谷病院を使っていない。そういう人多いと思う。民間の病院では、おいしいご飯が付いたり、負担の少ないようなことを考えたり、企業努力をし</p>

<p>I 委員</p>	<p>ていると思う。民間の企業努力もお手本にしていただければと思う。健康診断で再検査になると必ずその病院に行くと思いますので、患者数の確保にもつながると思いますので、その辺も考えていただければと思う。</p> <p>少子化対策の結婚についてですが、長野県のサポーターにさせていただきました。自分もこの会議に参加するようになって、人口減ということは結婚していない男女が多いため、どうしても人が増えないし、市外から来ていただくこともないので、非常に結婚の問題は大きな問題だと思う。ご一報いただければ、力になりたい。</p> <p>先日夫を亡くした。お葬式の時に、最近はお葬儀屋さんが全てを取り仕切ってくれるため、隣組などに頼まなかった。なので、お葬式が終わったその日にみなさんが帰ったら、家に私一人だった。お葬式が終わってすぐ、私一人になりました。娘が2人いるが、お姑さんのいるところへ嫁にしているため、幾日も頼むわけにも行かない。そうしたときに、家族の大切さ、肉親の大切さを実感した。今は結婚しなくても不自由がないが、親は一生生きていない。また親の面倒は自分が見ないといけない。一人になったときに「今夜から一人なんだ」と思った。</p> <p>結婚問題については各企業でも、あまり言うとセクハラになるが、ひとりでは将来困る。昔は結婚しないと海外に赴任できないとか、一人だと食べれないけれど、二人なら食べれるとか、苦しい時代をみんな乗り越えて来ている。今の男性も給料は少なく自信を失くしている部分もあると思う。二人なら何とか食べて行かれる、ということ、市から企業に対してPRしてもらえれば良いと思う。</p> <p>男女共同参画にもつながるが、子育て支援の問題で、私ども男女共同参画の講演にいても、北海道知事や資生堂幹部など女性の方が来て講演をしますが、それには連れ合いの方がそれに準じた仕事をしている。時間が決まっていない仕事、家で仕事をしてレポート出す、というような仕事をしているので奥さんをサポートしていけるが、地方に来ると、男性の方はしっかり奥さんのサポートがあって、食事から日常のことは全部やってくれますが、女性の場合はまごまごすれば男性に足まで引っ張られる。</p> <p>私も30年間勤めてきたが、何か自分のことをするときには夜中の11時、12時から始めて2時ごろ寝る、というのが30年間続いた。その間は子育てとか、仕事は定時、夫のこととか。長い日本の歴史がそうさせてしまっていて、昔から特に長野県は奥さんが家において、旦那さんが仕事をするという時代が長く続いたため、そういうことが年長の方々には理解していただけて、でも小学生や中学生、高校生になると必然的に黙ってお手伝いをしたり、生活の中に入ってくるので、これから何年か経てば、男女共同参画の生活に入れると思う。10年近く男女共同参画といっているが、実現しない。結局は女性の肩に生活のしわ寄せがくる。女性が働き続けるという難しさがそこにあるのではないかと思う。</p>
<p>F 委員</p>	<p>岡谷市民病院の件で、お伺いしたい。新病院が新しく建設されるということで、非常に先行きを期待しているが、諏訪の人から見ると、今までの岡谷病院は地元の人をある程度入るけれども、ちょっと重たい病気などは日赤にいつてしまうという傾向が強くなる。</p> <p>その中で最近岡谷病院も良い先生がいるとのことで、手術も良い手術をしているとの話を聞く。ただ残念なのが信大の関係の先生が多いというようなことで、ある時期になると、せっかく良い先生が来ているのに、向こう方に帰ってしまうというようなことで、新病院になったら、そこら</p>

	<p>辺のところ、学閥などもあるだろうが、広い範囲で立派な先生を補充していただいて、岡谷病院に行けばどんな病気でも診てもらえる、安心して入院できるというような病院になってもらいたいと思う。</p>
<p>横内会長</p>	<p>よろしいでしょうか。それでは基本目標3「自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち」に移りたいとおもいますが、ご意見をお願いいたします。環境保全、循環型社会、安全・安心な暮らしなど、生活に直結した問題ですので、みなさんの日々の生活の中での思いがあると思うが、是非ご意見を頂きたいと思います。</p>
<p>E委員</p>	<p>政策9「安全・安心な暮らしの確保」、7ページのところに豪雨対策ということで、塚間川、大川は依然として溢水被害が続いていると。平成18年に花岡や川岸で豪雨災害があったが、その後ダムを造って、不安はあるがそれからは何事もない。ところが、まちの真ん中で大雨が降るときに水が出る、というのは、いつ何時たくさんの雨が降っても不思議ではない世の中なので、市でも最重点項目として取り組まなければいけない。</p>
<p>B委員</p>	<p>ゴミ収集車の運行の関係。塩嶺とかやまびこ公園を通るときに、ゴミ収集車が低速で走っている。現在はそれほど台数が多いが、新しい清掃工場が完成すると、下諏訪や上諏訪からも車が来るようになり、台数が増える。そうすると、収集車の後ろに渋滞が発生する。 希望だが、そういう場合は、収集車が一旦待避して後ろの車をやり過ごすといった配慮を徹底していただけるとありがたい。これからそういうことが増えると思うと心配になるため、対応をお願いしたい。</p>
<p>H委員</p>	<p>生活環境について、良いまちだからあまりないかもしれないが、先ほどお話しがあった塚間川は、何度も工事しても解決しない。これは長野県に要望するとのことで、市の切実な関係と県が考えることが一致できない状況にあるかと思われる。市で「こうするんだ」ということをやらないと、ちょこちょこ工事をしていても対策になってない。 日頃たくさんやっているが、環境の変化に追いついていない。よほど根本的な対策をしないといけない。商工会議所も市が県に要望しているということは承知している。根本的に対策をするということは、どのようにするかということ、市あるいは地元が言っていないと先に進まない。</p>
<p>横内会長</p>	<p>8ページにも、防犯、消防、防災とかありますので、それらも含めてご意見を頂けたらありがたい。</p>
<p>K委員</p>	<p>H委員と同様に、塚間川のこと。消防団をやっているが、何度となく溢水ということと呼ばれて行っているが、なかなか対策がとられていない。かさあげしてもらったが、かさあげしたのは良いが、隣の家の側溝から水が溢れてくる。根本的な解決になっていないので、お願いしたい。 それと8ページ、交通安全のところ、子どものところ。事故も増加しているため、道のせまいところで子どもたちが登下校しているため、そういったところの安全確保をお願いしたい。</p>
<p>A委員</p>	<p>政策7、6ページ、再生可能エネルギーのところ。病院、消防署など新しい建物については太陽光発電や地中熱の利用など、いろいろやっているとのことだが、その他にもかなりいろんな施設があると思う。太陽光発電</p>

<p>F 委員</p>	<p>にしても地中熱にしても、たとえば一般で行えるような設備ではない。まずは市の庁舎とか施設などで導入して頂き実績を上げて頂きたい。手っ取り早くできるような、エネルギー源というものも現実にあるため、そういったものも、市で積極的に進めていくことも必要ではないかと思う。</p> <p>もうひとつ。交通安全のところだが、川岸に住んでいるが、川岸でも歩道が極端に狭い。通学路が時間帯により子どもがかなり多く歩いている。狭隘な道路、通学路を優先的に行うような事を考えて頂きたい。</p> <p>不法投棄の件についてお願いしたい。山の中などの不法投棄については話に聞くが、中には、個人住宅の畑や駐車場などへゴミを捨てる人が結構いる。ところが公的な場所でないため、そのゴミの処分は個人が処理しないといけない。</p> <p>こうした点について、ゴミの場所を移動すれば市で回収してくれるというようなことを行ってもらえないか。また、最近はゴミステーションについて、他の区の方が捨ててもよいとのことだが、捨てていく人が横着になり、地元の人が困惑するような捨て方、例えば車の中から投げ捨てるというような捨て方もあると聞く。ゴミ捨てのマナーについて気をつけて頂きたいと思う。</p>
<p>L 委員</p>	<p>今回の審議員の中に消防団関係者が3人もいるので、一言だけ。要望・意見一覧にも記載があるが、消防団は世間的なイメージはよく分からないが、人が育つ部分でも有用な団体だと思う。活動の際には市の特別公務員の地位が与えられる。若い人になかなか入ってもらえないのが実情で、このままの状態が続くと高齢化が進み、有事の際の対応が厳しくなることが危惧される。いろいろな啓発活動を行っているが、またいろいろと考えてやっていくが、一言だけ。</p> <p>基本目標4にも関係していくと思うので、人材育成、人を育てていく部分では良い場所であるということを入れておいていただけると、良いと思う。</p>
<p>横内会長</p>	<p>それではないようですので、次に行きたいと思います、基本目標4「生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち」について、ご意見を頂きたいと思います。9ページからです。</p>
<p>J 委員</p>	<p>先日配布された、祖父母と同居しているか、単独世帯かとのデータを見て、改めて子どもと親、それだけの家族が多いということを実感した。そんなことを考えると、子育てをしている中で、すぐ相談できたりする方がいないということも含めて、子育て支援をしっかりと謳っていただければと思う。学童クラブ、放課後の子どもの居場所づくりも時代的にこれから益々需要があることだと思うので、その辺もしっかりと謳っていただきたい。子ども支援ということで、安心して子育てができる岡谷になればと思うので、お願いしたい。</p> <p>次に、美術考古館、蚕糸博物館が相次いでオープンしていくが、郷土愛を育むためにも、観光産業のためにも、生涯学習のためにも、観光客はもとより地元の人でも出入りをよくする施設、多くの人に利用される施設になっていただきたいと思うので、十分に考えて進めていただきたい。</p>

K 委員	<p>基本目標 4、生涯学習の推進の部分。不登校のところが未だ気になっている。満足度がどうしても分かり難い。その部分、できれば不登校というように、はっきりと謳って頂きたい。もう一度検討し直していただけるとありがたい。満足度いうのも分かり難いところ。はっきりと明確に伝わってくるのは不登校という言葉と、そこに出てくる数字。ぜひ盛込んで頂きたい。</p>
D 委員	<p>主にスポーツに関わる場所。子ども達の、学校以外でのスポーツ団体の活動が盛んになってきている方向性があると思う。そのときに、民間のこのため、しかもボランティアで指導していただいているということで、それはありがたいことだが、そうすると、これから増えていく中で、子どもの健全育成やスポーツ選手の育成系に大きく関連してくると思うが、どうしてもその人任せという形になり、上手くいっていない団体も多くある感じがする。</p> <p>そうなってくると、学校、保護者がボランティアで指導されている方に物を言うことが難しい中で、体罰とか行き過ぎた指導などが起こりうる可能性が含んでいる。こうした状況の取りまとめをしながら、指導者を育成する場であるとか、講習する場であるとか、さらには資格を与えるなどでできればいいと思う。</p> <p>何らかの形で市が土台を、基礎を作っていくながら、民間で指導する指導者の育成を行いつつ、団体の支援をしていくことが出来ると、非常に良い団体活動になり、子どもの成長にもつながり易いということになると思う。なかなか他の人たちが手出しできないというところについて、行政がとりまとめていただくという方向性を出していただけると、上手くいくのではないかと思う。</p>
B 委員	<p>美術考古館の空いているところの貸し出しについて問合せしたところ、一般の人には貸し出しをしない方向だということをお聞きした。しかし、まちなかにある美術館に、有料で美術を愛する人たちに貸し出しをして、まちのにぎわいとか文化の向上とかいろいろな点で良いと思う。絵を描いたり美術をやる人たちも、そういうような所で展示会など出来ることは誇りに思えること。現在、笠原書店とココアで市民の方々は有料または無料でやっているが、良いところがあったので、貸出料を一定の水準で設けて貸し出すことを実現して欲しい。</p>
A 委員	<p>10 ページ、スポーツ施設のところ。岡谷には良いスポーツ施設がある。ただ、まだ活かしきれていないのが現状。例えば、体協と連携を取ってこのような施設を最大限活用する。今はスポーツ振興課が中心になっていると思うが、スポーツ振興課と体協がもう少し連携を取りながらやっていけば、この施設が活用できると思う。ぜひ強力的に進めていただきたいと思う。</p>
H 委員	<p>9 ページの教職員支援のところ。非常に大切な部分。私も父親時代を卒業したため、あまりここに関心がないが、当時は P T A 会長などをやったが、当時と同じことをここで言っている。この辺の考え方は重要だと思う。</p> <p>先生が保護者に対してどう力をつかうのかということに忙殺されていると書いてある。ここは昔と少しも変わっていない気がする。どうすれば良いかというアイデアがないが、教育と社会の隔たりが大きすぎるのではないかと思っていた。今はインターンシップなどを中学でもやっているし、小学校でも職業経験を生徒に持たせる取り組みをしているが、もう少</p>

	<p>し先生が社会の職業などを勉強する機会を与えたらどうかと思う。もうひとつは、保護者が子どもに関心を持つことが良いことだが、そうでない人たちがいるのではないか。保護者が学校を理解しない、理解させるために先生が奔走するという事になっているのではないか。先生方が少し社会勉強をして教職にあたられば良いのではないかと思う。</p> <p>もう一点。蚕糸博物館とか美術考古館。美術考古館が 11 月 3 日にオープンし、蚕糸博物館もできる。建物ができるので、ソフトの方、これをどう利用していくか、ということについて知恵を絞りやっていかなければいけない。ソフトの充実を行政でイニシアチブを取ってやらなければいけない。</p>
I 委員	<p>先生の資質の問題。昨今の状況は分からないが、以前はジャージでご飯を食べ、運動もし、授業もするなど、体が楽だということで、全てジャージでやっていた。先生は子どもに近づいていると自分は思っているが、子どものほうからすると先生はいつも、朝から晩までジャージでやっていると、子どもが大人に対する気持ちの持ち方が難しいのではないか。</p> <p>以前、県の教育長に話をしたが、「全員ではないから」とやんわり逃げられたが、ちょっと締まったところ、先生は、と引くところがない、いつもいつも友達ではいけないと思う。先生の資質の問題もちょっと大事ではないかなと思う。</p>
横内委員	<p>そのほかいかがでしょうか。では、次に行きたいと思います。基本目標 5 「快適に生活できる、都市機能の充実したまち」について、ご意見を頂きたいと思います。</p>
C 委員	<p>政策の中で、駅周辺の地区整備という形で、ララオカヤを深く検討しながら活性化していくと書いてある。電車を利用して弊社にお越しいただく県外の方が結構いるが、岡谷駅を降りたときに、駅前に何も無い、駅が寂しいとよく言われる。ここ数年、岡谷駅周辺を見るとララオカヤでイベントをちょっとやり、飲食店もわずかしかない状況。駅はまちの顔だと感じている。駅周辺整備ということで目標を掲げているので、ずっとそのままの状態であるので、ぜひ良い形で駅周辺の整備をして頂きたい。</p>
D 委員	<p>主に計画的土地利用に関係するが、冒頭の話にあるように、人口が増えることが望ましいし、若い人たちが多くなる、子どもも増えることが望ましいことは間違いの無いことだと思いますので、それはそれとして、きちんと個別の施策等を打っていただくことは必要であり、市民を上げて推進していくことは必要。</p> <p>前回、H 委員さんから「身の丈にあったまちづくり」、将来のイメージとかビジョンとか、そういうようなお話しがあったが、もう一方で、計画土地利用というの、もう少しシビアにとか、現実という物の中から、将来像をみながら進めていく必要があると思っている。</p> <p>人口統計もこの先にもっとすごいデータある。具体的には 2035 年には岡谷の人口は 38,000 人になるということで、これを個別のいろんな施策をやったところで、50,000 人が維持できるかということになると、これは非常に難しい問題。</p> <p>一方で 38,000 人がダメかということ、個人的に調べてみたが、38,000 人というのは昭和 40 年代前半の人口であり、そのまちでやっていけないかということ、決してそうではない。もちろん時代が違う。右肩上がりに経済</p>

<p>G 委員</p>	<p>が上がっていく時代とそうではない時代の同じ人口ということで、まちのイメージも活気も違うということだと思うが、決して人口が少ないからいけないということではないと思いますし、22 年後には 1 つの予測として 38,000 人という予測が出ている事も事実。</p> <p>人口を増やすことをやることも大事だが、そういうことに備えた計画、土地利用の計画だとか道路網の整備だとか、まちづくり全体のフレームワークを考えながら進めていくという現実が必要ではないかと思う。この 5 年の計画づくりは、その辺の事を見据えながら、できるだけコンパクトに無駄な物をなくしながら、機能性の高い土地利用計画を作っていくという方向性を出していく時期にきているのではないかと思う。全般に通じるところにはなるが、そんな観点をどこかで押さえていただければと思う。</p> <p>岡谷インターの件と道づくり。C 委員の話にあったように、ララオカヤ、岡谷駅は岡谷の顔、入口。岡谷インターも華やかでなくても良いので、岡谷の顔にしてもらいたい。岡谷はいいところだな、と思えるような場所にして頂きたいと思います。それから桜並木の道はぜひ H 委員と一緒に何とか人の道になるように力をいれて頂きたい。</p>
<p>H 委員</p>	<p>11 ページの政策 14、人に優しい道路。人に優しい道路を是非やってもらいたいと思う。先ほど 7 ページの交通安全の所にも通じる。神明小学校あたりをみると、いつ事故が起きるか非常に不安。広い道を 1 つの細い信号で渡る状況を考えていかなければいけないと思う。子どもが渡る場所はみんなそうだが、みんな危ない。</p> <p>人に優しい道路は、新しく道路を作るということではなく、今の道路をどのように活用して人に優しい道路、あるいは自転車に優しい道路を作るか、ということで、一方通行になっても私は構わないので、車優先の社会ではなく、これからはそういうところをしっかりと作っていかないとはいけないと思う。ぜひ、基本構想に入れて頂きたいと思う。</p> <p>もう 1 つ、諏訪湖浄化対策。午前中、自転車で諏訪湖周辺を通ったが、人が非常に多い。昼間は中央通りより多いのではないか。いろいろな面で、利用者がいる。夏は特にアオコがでない対策を、諏訪湖周辺でまとまって、諏訪、下諏訪、岡谷で協力して取り組んで頂きたいと思う。</p>
<p>F 委員</p>	<p>11 ページ、上から 2 番目の単身高齢者対策。市営住宅の事が書いてあるが、市営住宅もいろいろあるが、帝ピスの近くの市営住宅は、家賃が最低限安いということで、生活的に非常に困った方や肉親の方が近くにいない方が優先的に入居している。収容人員は多いが、そういった方多いため、交流がほとんど無いと聞いている。民生委員が定期的に訪問しているからいいのでは、ということだが、民生委員自身が訪問しても話が聴けないという状況であり、効果が挙がらないという苦労がある。</p> <p>定期的に巡回するから良いとの言葉が入っているが、ある程度交際の少ない方が多い場合は、管理人や公的な方が対処的に見てもらうというきめ細かい対応が必要ではないかと思う。</p>
<p>横内会長</p>	<p>そのほか如何ですか。よろしければ、最後に「総合計画の推進に向けて」について、13 ページに移りたいと思います。これについて意見をお願いいたします。</p>

<p>G 委員</p>	<p>基本構想審議会の審議が終わろうとしているが、みなさんのまちづくりへの想いが出された。それによって、私自身も勉強になってきた。まちづくりについて、まちの人が十分に理解しているかどうか、分からないが、あまり理解していないような気がしている。</p> <p>市民参加とか区民参加とか非常に大切だと思うが、もし出来ることなら、こういった素晴らしい考えや想いをもった審議会のあるひとつのいいと思うので、できるだけはやく1つでもまちに直結したことをなにか出来れば、まちの人たちも実感できるようなものがあれば、まちの人たちの考えも変わってくる。</p> <p>まちのへの想いも数少なくても、何人かでもいいので、想いを持っていただければ、こうした審議や計画が生きてくると思う。1つでも早く、なんとかできたらやって頂きたい。こういうものでまちの人たちの考えが大きく変わってくると思うので、ぜひ考えて頂きたい。</p>
<p>L 委員</p>	<p>G 委員もおっしゃったように、そういう動きが非常に大事。私も思うが、市民総参加というところに関連して、どれだけの人が岡谷市のまちづくり、その他に関わっているか、考えている人は殆どいない。</p> <p>例えば、ゴミを分別する、それもまちづくりの参加の1つ、どこからどこまでが総参加の1つかというところが分かり難い、と感じている。</p> <p>あとは、いつの間にか決まっていた事業などが市の事業の中にある気がする。たとえば駅南の開発とか、童画館通りの美術考古館も、アンテナを張ってなかっただけかもしれないが、いろんな案件について、いろんな市民団体の意見をよく聞くだとか。</p> <p>他の課でやっているが、今の消防署の跡地、旧市役所庁舎の利用について、一部市民団体がアイデアを出している動きもある。一般市民と行政との対話も非常に大事にして頂きたい。市民の意見を広く取り入れるということで、市民の方の意識向上などにもつながると思う。市民が動かないと岡谷市政はうまく行かないと思いますので、自分たちでつくれるまちという意識を市民のみなさんに持ってもらう、意識改革が必要だと思う。</p> <p>また、庁舎内の横のつながり。いろんな案件で相談に行くと「ここは課が違うから」とかいうことは往々にしてあると思う。庁舎内、行政内の連携、市民と行政、行政内というお互いの連携というものが非常に大切だと思いますので、ぜひこの項目に謳って頂きたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
<p>E 委員</p>	<p>G 委員やL 委員が言われたが、市民総参加のまちづくり。いい言葉を言っているが、実際にどのくらいの市民が、例えばこの審議会にしても、私はここではじめてこういう審議会があるということを知った。こういう会議があって、岡谷には他の会議もあると思うが、そういう会議がいろいろあるが、知っている人はわずかな人で、市民の大多数は知らない。それを市民にいかにして知らせるか、というのを行政でやっていただかないと。帰宅して妻には話すが、妻のところまで終わってしまう。</p> <p>先ほどの美術館とか消防庁舎の空いたところをどうするかとか、新聞でたまに見ると、今度はこういうところから要望が出ているんだ、ということは見るが、それだけで終わってしまう。市民総参加ということになると、市の方で何らかの方法で全市民が知っていなければいけない、という考えで市はやって欲しい。これは希望です。</p>

D 委員	<p>広域市町村との連携だが、市町村合併自体は今現実的ではないと思うが、ここにもあるとおり、共通してやれること、広域連合という組織もあるため、それぞれの市町村で協力して実施できることは是非ますます進めて頂きたいと思うし、6市町村全体ではなくても、隣の下諏訪だけとか、諏訪市だけとか、あるいは観光も、もちろん市単独で整備すべきことはあると思うが、協力しないとより良いものにならない、より大きな価値が出せないというものもあるため、必要なもの、将来に向けてやっていった方が良いもの、ということ積極的に進めて頂きたいと思う。</p> <p>市民総参加について、私もここに参加させていただいて、今までいかに情報を自分から取ろうとしなかったか、とか、知らなかったことがいかに多かったか、ということに気づかせていただいた。</p> <p>ただ、これが終わると、多分私もまた、別のものがあつたとしても、それに対して関心が今のように持てないというのが現実だと思う。残念ながら次の審議会があつて、どうしても出て来いといわれればもちろん参加するが、現実はそうでない、と。私自身もこれが終わったら多分、また元に戻るとというのが人の常、私だけかもしれないが。</p> <p>ここまでの会でなくて良いため、ある意味参加させていただいたお陰で、こういう機会が創れたということだと思うので、裁判員裁判ではないが、もう少し広く、いろんな人たちに、もう少し小さな塊で良いので、来ていただいて話をさせていただくというような機会を1回でも2回でも多くしていただくと、もしかしたら参加意識というものも変わってくるのかなと思う。これから市のいろんなことを話をさせていただく中では、そんなコーディネートも1つ踏まえていただければ、総参加ということも少しずつ進んでいくのではないかと思う。</p>
G 委員	<p>男女共同参画、これは大分以前に全家庭に本が配布されたと思う。男女共同参画について、これをただ配っただけで、皆これについて呼んでいるかどうか分かりません。この問題についてはこれから男女共同の立場上、市長が女性になっても良いし、市役所方からどんどん女性を選んで、偉い人たちになってもらいたいということと、他にも区でもそうだが、言葉どおりに、なんとしても女性というのは細かなところがわかってきます。女性をあちこちへ配置していただいて、女性を役に立たせてください。そういうことを要望します。</p>
H 委員	<p>市民総参加の意識向上、非常に大切だと思うが、市報には、こうした委員会のことは掲載されるのか？市報はどこが担当しているのか。</p>
小口企画政策部長	<p>広報情報課で担当させていただいている。私どものセクションです。委員の募集とかあるいは答申がでるなどのまとめの部分を載せさせていただいて、こういう会議録の公表は殆どがホームページを通じてやるような形。毎月32ページの限られた中でいろんな情報をお伝えしなければいけないことなかでは、特集的にやる場合もありますが、会議の状況については詳しくお伝えすることができないのが現実であります。</p>
H 委員	<p>PRをどうするかという問題で、こういう場に参加した人以外には伝わる手立てが無いかもしれない。例えば今いろいろ参加していて、みなさんご存知かどうか、環境審議会、工業活性化委員会、基本構想審議会、以前はブランド審議会など、みんな大体似ていて、市のことをどうするか、ということ。ただこれを誰が知っているか。総参加になると、もっと知らない</p>

	<p>いということになる。これをどうするか。こういうことを本当は市が、審議員がやっているということ、広報や市民新聞でPRする必要があると思う。ぜひそういうことを考えて頂きたい。まずそこを知らないと市民は参加できない気がする。市民は、D委員さんがいったように、これが終わると離れてしまう。身の回りで精一杯だから離れてしまう。ただ知らないとどうにもならない。</p> <p>もう1つは市町村合併が最後に載っている。市町村合併がダメになり、肩透かしを食らったような感じになったが、また長くかかるだろうが、岡谷市の姿勢、市長は合併には積極的にやるという姿勢を、市長がそういうつもりなら、示した方がよろしいかと思えます。</p> <p>審議委員の募集だが、ホームページで見たら、募集条件が論文を原稿用紙に書いて、とあった。そんなことをパスしていたら、たまたま「まちづくりワークショップ」に参加した成り行きで、この場に出さしていただいているが、審議員の募集について条件を緩和して、ホームページを見る人は大勢いるでしょうが、論文や岡谷市についてどう思うか聞かれても、いまさら応募する気にならない。将来を決めるなら若い人に参加してもらいたいの、ぜひ検討して頂きたい。</p>
B委員	<p>地域コミュニティの関係。区の役割があるが、区長を務めているが、岡谷市の場合は岡谷市があって、21の区があって、そこにそれぞれ区長がいて、それぞれの区が活躍している。諏訪市や茅野市の状況を聞くと、岡谷市は良いやり方をしていると思う。</p> <p>要するに、市が苦勞せず一般の市民に情報を伝える仕組みだと聞いている。これから災害があつて何かするとか、高齢者が増えてきて要支援だとか、問題をこれから進めていくとなると、区は岡谷市にとって大事な組織だと思う。</p> <p>区が活性化すれば、区民も要するに市民も元気に動けるといことで、区長をやっているが、実際に市からこういうことをしてくれ、といわれたら、なるほどそうか、といってやるが、区長の集まりとかで、市が上手く区長を使えるというシステム、これからも考えていってもらったほうが、PRできるのではないかと思う。</p>
横内会長	<p>みなさん如何ですが、他にありましたらお願いします。</p> <p>無いようですので、この審議会にそれぞれの想いで参加されたと思いますけれども、この審議会もいよいよ終わるが、多分みなさんのところにいるんな想いがあつて、充実した審議会であつたのではないかと思います。太田さんからも話しがありました。今後、ここで終りではなく、何かの機会があつたら、あのときの苦勞を思い出して、誰も参加する人がいなかったら、自分で出てみようとか、友達を誘ったりとか、ひとつひとつの言葉掛けが、市民総参加にもつながる、ということはこの6回の審議会に参加させていただいて感じました。これからもことあるごとに、この岡谷市を良くしていくために、みんなで出来るところは協力をしていきたいと思つたので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>長い間、慎重なかつ活発なご意見を頂きましてありがとうございました。以上で本日の審議を終了いたします。</p>

4 その他

横内会長	最後に事務局からお願いいたします。
白上主幹	<p>長時間にわたりご審議ありがとうございました。思ったよりたくさんのご意見を頂きまして感謝しております。私から事務連絡をさせて頂きたいと思っております。次回の第7回の基本構想審議会、会長さんからご挨拶を頂いてしまいましたが、もう1回ございますので、よろしくをお願いいたします。第7回基本構想審議会の日程についてご案内いたします。日程につきましては前回も少しお話しをしましたが、11月1日の金曜日になります。約1週間後になりますけれども、午後1時半からこちらの9階大会議室、こちらの会場で11月1日金曜日に行います。会場の方、お間違えの無いようお願いいたします。9階のこの部屋になりますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>内容につきましては、本日の審議内容を踏まえまして、先ほどもちよっとお話しを致しましたが、正副会長さんと事務局の方で至急答申案、たたき台を作成させて頂きたいと思っています。その答申案については、最終的な総仕上げについての最終的な調整を行っていただくのが、次回最終回になろうかと思っております。事前に郵送等でお手元にお届けをいたしますので、中身をじっくり読んで頂きたいと思っております。次回はそれについてご意見をいただきたいと思っています。</p> <p>次回の審議会が最終回となりますので、次回の審議の中でまた答申案について修正がありましたら、またそれについては修正をした上で、みなさんに郵送等でお示しをさせていただいて、ご了解を頂いた上で、答申案としてまとめていきたいというふうな形になっておりますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>また答申につきましては、正副会長さんをお願いをいたしまして、11月1日以降、答申案がまとまった時点で、市長に答申をしていただく形になっております。ご了承をいただきたいと思っております。なお、本日の内容につきましては早急まとめまして、またお示しをして参りたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>それともう1つ、お知らせがありますので、お聞きいただきたいと思っております。</p>
宮坂主査	<p>事務局の宮坂です。長時間のご審議、大変お疲れ様でございました。</p> <p>本日、みなさまのお手元に、こちらのチラシですが、「第5回市民総参加のまちづくりフォーラム みんなが元気に輝くたくましいまち岡谷5年間のまちづくりを考えるパネルディスカッション」というようなチラシを各位委員さん6枚ずつお配りさせて頂きました。</p> <p>先ほど、太田副会長さん、横内会長さんからもございましたが、ぜひこれで終りではない、ということの続きとして、11月16日の土曜日、テクノプラザおかやでこのパネルディスカッションを開催して参りたいと思っております。</p> <p>この基本構想議会の横内会長もパネリストとしてご登壇をいただく予定になっておりますので、ぜひ横内会長の応援団として、みなさん会場に足を運んでいただきたいと思っております。また、みなさん自身もそうだけれども、ぜひみなさんのご所属されている団体の方ですとか、ご家族、隣近所、ご友人お誘いあわせの上、一丸となって横内会長を応援して参りたいと思っておりますので、ぜひこのチラシをお配り頂きたいと思っております。</p> <p>足りない場合はいくらかでも増刷することが可能でございますので、ご一</p>

<p>白上主幹</p>	<p>報いただければと思います。ぜひよろしく願いいたします。</p>
<p>横内会長</p>	<p>事務局からは以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>16日は、精一杯みなさんのお気持ち、まとまったものを、どんな形で質問がくるのか分かりませんが、頑張りたいと思います。</p>

5 閉会

<p>横内会長</p>	<p>長時間、お疲れ様でした。最後に小口副会長お願いいたします。</p>
<p>小口副会長</p>	<p>それではこれで第6回基本構想審議会を終了といたします。大変お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>